

令和4年度

かなや

本庄市立金屋小学校

交流体験



第4学年

特色

- 埼玉県の三偉人の一人、塙保己一翁の生家を学区にもつ本校は、塙先生のお膝元の小学校として、塙先生を扱った学習をその教育活動の中心として行っている。第4学年では塙先生のおかれていた視覚障害者の境遇に迫る。アイマスクをしての歩行などの視覚障害者体験、高齢者体験、車いす体験などを行う。また、本庄市社会福祉協議会と連携し、福祉について学習し、視覚障害者や高齢者、パラアスリートやパラリンピアンとの交流を行っている。

児童の感想

- 私はアイマスク体験で、目が見えないことはとてもこわいと思った。でも、視覚障害者の方のお話を聞き、目が見えなくて大変なこともあるけれど、幸せなことや楽しいこともあると知りおどろいた。時計の何時の方向と教えてもらえれば物が取れる、一緒に走ってくれる人がいればマラソンもできる。支えてくれる人がいて、工夫をすれば何でもできると聞き感動した。

成果

- 児童は障害者体験を通し、支援してくれる人の有難さなどを実感した。また、障害のある方との交流から、障害を受け入れ、明るく前向きに生きているその姿に勇気づけられた。これらの体験は児童に「自分も他の人の役に立ちたい。」という思いを強くもたせている。併せて、塙先生の偉業の比類なさを強く感じている。